

HTLV-1とは

HTLV-1とは

「ヒトT細胞白血病ウイルス-I型」の略称で、主にヒトの白血球(リンパ球)に感染するウイルスの一つです。一度感染すると自然にウイルスが消失することはないと考えられており、終生感染が持続します。このウイルスを保有している方を「HTLV-1キャリア」と呼びます。

HTLV-1の感染経路

HTLV-1の感染は、キャリアからの生きたリンパ球が体内に入ることによって起こります。感染経路としては、

- ・母子感染
- ・性行為感染
- ・輸血による感染

の3つがあります。

1986年以降、献血された血液に検査が行われるようになったため、現在では輸血による新たな感染はありませんので、主な感染経路は、**母子感染と性行為感染**です。

職場や学校等での社会生活の中で感染することはありません。

HTLV-1関連疾患とは

「HTLV-1関連疾患」とは、HTLV-1感染に伴って起こる可能性のある疾患のことです。

- ・成人T細胞白血病・リンパ腫(ATL) … リンパ球の一種(T細胞)が腫瘍化する疾患
- ・HTLV-1関連脊髄症(HAM) … 歩行障がいや排尿障がいを引き起こす脊ずい疾患
- ・HTLV-1関連ぶどう膜炎(HU) … 眼球内のぶどう膜の炎症

残念ながら、現在のところ関連疾患の発症を予防する方法はありません。しかし、発症するのはキャリアのごく一部であり、約95%の方は生涯、関連疾患を発症することなく過ごされています。

1人のHTLV-1キャリアの方が生涯にATLになる確率は約4~5%、HAMは約0.3%、潜伏期間はATLで40年以上、HAMやHUは数年以上とされています。